

2017年11月5日（日）「神の国を垣間見る」マルコ9：1～13

聖書箇所：マルコ9：1～13

タイトル：「神の国を垣間見る」

テーマ：三人の弟子たちを連れて、高い山に登られたイエスの御姿が変わった。人として来られたイエスがつかの間、神としての栄光を現わされた場面である。イエスはエリヤとモーセと語り合っておられた。

三人の弟子たちは、神の国がいかなるものであるかをこの瞬間、見る機会が与えられた。ここで現わされた神の国とはどのようなものであったのか。神の国の到来の前にはどんな前ぶれがあるのか。イエスは弟子たちに何を教えようとされたのかを考えてみよう。

1. 文脈の確認

①並行記事 マタイ16：28～17：13

ルカ9：27～36

②「まことに、あなたがたに告げます。ここに立っている人々の中には、神の国が力をもって到来しているのを見るまでは、決して死を味わわない者がいます。」（9：1）

同様の箇所（マタイ16：28、ルカ9：27）

*以上のイエスの言葉の意味は？

*この言葉の前にイエスは神の国がやがて実現することを弟子たちに話された、それから間もなくの出来事であることに目を留めよう。

③「神の国の到来」と記された「神の国」とは何のことか？

2. 神の国に住む人々

①イエス・キリスト

②旧約（律法と預言者）を代表するモーセとエリヤ

*死後復活する聖徒の代表 モーセ

*死を見ずに天に引き上げられる聖徒の代表 エリヤ

*この二人は復活が必ずあることの保証

3. ペテロと他二人（ヤコブとヨハネ）の弟子たちの反応

①驚きのあまり、ペテロが反応

*ペテロが幕屋（仮小屋）を造ると言った理由

*レビ記23：34～44に記されている仮庵の祭りとの関係

・23：40——仮庵の祭りで最初にする事

・23：42——7日間仮庵に住む——その意味（神がエジプトの国からイスラエル

人を連れ出したとき、彼を仮庵に住ませたことを後の世代が知るため)

・神の国の到来と仮庵の祭りが関係があるのか

②弟子たちの勘違い

4. 神の声

5. イエスの命令

「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見たことをだれにも話してはならない。」

①命令に従った弟子たち

c f II ペテロ 1 : 16 ~ 18

*十字架、復活、聖霊降臨を経て、キリストの使徒として力強く働いたペテロの後の述懐。

「私たちは、あなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨を知らせましたが、それはうまく作り出した作り話に従ったものではありません。この私たちはキリストの威光の目撃者なのです。…」

②イエスの言葉の意味をこの時、彼らは理解していない

*人の子が死人の中からよみがえるとき？ 一体何のこと？

6. エリヤがまず来るとはどういう意味か？

①マラキ 4 : 5 神の国（千年王国）が到来する前にエリヤが来る？

「見よ。わたしは主の大いなる恐ろしい日が来る前に、預言者エリヤを遣わす」

②マラキ 3 : 1 受難のメシヤの道ぞなえをする預言者とは？

「見よ。わたしは、わたしの使者を遣わす。彼はわたしの前に道を整える。あなたがたが尋ね求めている主が、突然、その神殿に来る。あなたがたが望んでいる契約の使者が見よ、来ている」と万軍の主は仰せられる。

7. 結論

①私たちは、イエスを人として来られた神であられると心から信じているか

②神の国の到来を垣間見た弟子たちのその後の歩み

③イエスを神の子キリストとして信じる者は何を指して歩むのか